

実感が低下した分野

1 「余暇の充実」の実感

① 分野別実感の概況

ア 分野別実感の推移

実感平均値は 2.96 点であり、基準年調査より 0.09 点低下しています。

t 検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に低下していることから、当該分野の実感は低下していると考えられます。

イ 属性別の状況

○ 令和 4 年県民意識調査の状況

- ・ 年代別では、「50～59 歳」が低く、「70 歳以上」が高くなりました。
- ・ 職業別では、「常用雇用者」が低く、「学生＋その他」が高くなりました。
- ・ 世帯構成別では、「その他世帯」が低く、「夫婦世帯」が高くなりました。
- ・ 居住年数別では、「20 年以上」が低く、「10～20 年未満」が高くなりました。

○ 令和 4 年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表 1 のとおりでした。

表 1 「余暇の充実」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

| 属性 | | H31 | R 4 | R 4 - H31 |
|-------|-----------|------|------|-----------|
| 県計 | | 3.05 | 2.96 | ▲ 0.09 |
| 男女 | 女性 | 3.08 | 2.96 | ▲ 0.12 |
| 年代 | 70 歳以上 | 3.36 | 3.10 | ▲ 0.26 |
| 職業 | 60 歳以上の無職 | 3.26 | 3.00 | ▲ 0.26 |
| 世帯構成 | 夫婦のみ | 3.24 | 3.07 | ▲ 0.17 |
| 居住年数 | 20 年以上 | 3.03 | 2.94 | ▲ 0.10 |
| 広域振興圏 | 県央広域振興圏 | 3.17 | 2.99 | ▲ 0.18 |
| | 沿岸広域振興圏 | 3.09 | 2.90 | ▲ 0.19 |

② 分野別実感が低下した要因

- ・ 県民意識調査の結果、実感が有意に低下した属性は、表 1 のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。
- ・ 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」で、実感が低下した人の主な回答理由は以下のとおりでした。
 - (ア) 自由な時間の確保
 - (イ) 趣味・娯楽活動の場所・機会
 - (ウ) 知人・友人との交流
- ・ 補足調査結果において、実感が低下した人の上記回答理由と、実感が横ばい、上昇した人の回答理由を比較しても特徴的な要因は抽出できませんでした。
- ・ 以上を踏まえ、当該分野の実感が低下した要因は、「自由な時間の確保」、「趣味・娯楽活動の場所・機会」、「知人・友人との交流」とであると推測されます。

③ 一貫して高値又は低値で推移している属性とその要因

- ・ 平成 28 年から令和 3 年までの県民意識調査で、一貫して高値（4 点以上）で推移している属性はなく、低値（3 点未満）で推移している属性は表 2 のとおりです。
- ・ 補足調査において、これらの属性で「あまり感じない・感じない」と回答した人の主な回答項目は、「自由な時間の確保」、「知人・友人との交流」、「趣味・娯楽活動の場所・

機会」、「知人・友人との交流」で全て同一であったことから、これらが要因として推測されます。

表2 「余暇の充実」の実感において低値で推移している属性

| 属性 | | H28 | H29 | H30 | H31 | R 2 | R 3 | R 4 |
|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| 年代 | 30～39 歳 | 2.73 | 2.88 | 2.88 | 2.71 | 2.78 | 2.86 | 2.87 |
| | 40～49 歳 | 2.88 | 2.82 | 2.88 | 2.87 | 2.88 | 2.83 | 2.83 |
| | 50～59 歳 | 2.68 | 2.85 | 2.79 | 2.92 | 2.78 | 2.70 | 2.81 |
| 職業別 | 常用雇用者 | 2.82 | 2.87 | 2.82 | 2.89 | 2.85 | 2.86 | 2.84 |
| 世帯構成 | 2 世代世帯 | 2.80 | 2.98 | 2.94 | 2.97 | 2.84 | 2.92 | 2.93 |
| 子の数 | 子どもはいない | 2.84 | 2.92 | 2.97 | 2.92 | 2.91 | 2.91 | 2.88 |